

災害前の地域空間特性の継承に向けた伝承と復興/事前復興まちづくりに関する実践研究

関連キーワード: 災害伝承、復興まちづくり、事前復興まちづくり、記憶

研究内容

地域は多様な人々が暮らす空間であり、様々な生活文化等の特性（以下 地域空間特性）が内包されています。一方、災害大国と呼ばれる日本では、大規模な災害が頻発し、多くの地域空間やその特性が被害を受けています。多様な地域空間特性を災害を超えて継承していくための実践・研究を進めています。

具体的には、災害で失われた地域空間を模型で復元する「失われた街」模型復元プロジェクトを、これまで東日本大震災被災地中心に実践してきました。地域空間を復元した模型を制作しつつ、その模型を公開展示し、住民等からその地域での災害前の生活などの記憶を聞き取り記録していく「記憶の街ワークショップ」を各地で行いました。当時制作した模型は、その一部が各地の震災伝承施設に展示されるなど、災害前の地域空間特性の伝承に貢献しています。

また、そのような災害前の地域空間特性を伝える取り組みは、今後災害の発生が想定される地域での事前復興にも応用できるのではと考え、南海トラフ地震の被災想定地域で同様の実践を行いました。

そして、ワークショップを通じて記録した多くの人々の記憶からは災害前の各被災地の地域空間特性を読み取ることができます。それを活かし災害前各被災地はどのような地域で、災害後にそれがどのように変化したかといった、災害前を起点した復興まちづくりの検証を試みています。



左: 記憶の街WSの様子、右: WSで記録した記憶の例（撮影 藤井達也）

研究者プロフィール

- ・教養教育センター 助教 磯村和樹
- ・専門分野 復興まちづくり、事前復興まちづくり
- ・研究分野 同上
- ・所属学会 日本建築学会、日本都市計画学会、日本災害復興学会、地域安全学会、災害情報学会



地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

災害などで失われた地域などがあれば、その地域を模型で復元するなどして、災害前の地域を振り返る催しの企画やサポートができます。例えば、2023年には震災で被災した宮城県気仙沼市小泉地区の住民有志に、制作した同地区の復元模型を寄贈し、上記の催しを住民等が実施する際のサポートを行いました。



小泉地区での
記憶の街WSの様子
(撮影 藤井達也)

研究者への連絡先

- ・E-mail アドレス: isomurak@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- ・個人研究室のTel: 022-721-3318